

アメリカの外交政策と 日本の針路 戦争を回避するために

●日時：5月9日（土）

開場/13:30 開始/14:00~

●場所：名古屋市公会堂

第7研修室

JR中央本線「鶴舞」駅下車 徒歩2分、
地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅下車 徒歩2分

●参加費：1000円（学生500円）

●講師 猿田佐世さん

新外交イニシアティブ（ND）代表・弁護士



ND代表、ND上級研究員・弁護士（日本・ニューヨーク州）・立教大学講師・沖縄国際大学特別研究員。TV朝日系列「羽鳥慎一モーニングショー」レギュラーコメンテーター。早稲田大学法学部卒業後、タンザニア難民キャンプでのNGO活動などを経て、2002年日本にて弁護士登録、国際人権問題等の弁護士業務を行う。2008年コロンビア大学ロースクールにて法学士号取得。2009年米国ニューヨーク州弁護士登録。2012年アメリカン大学国際関係学部にて国際政治・国際紛争解決学修士号取得。ワシントン在任時から現在まで、各外交・政治問題について米議会等で自ら政策提言を行う他、日本の国会議員や地方公共団体等の訪米行動を実施。米議員・米政府面談設定の他、米シンクタンクでのシンポジウム、米連邦議会における院内集会等を開催。研究課題は日本外交。基地、原発、日米安保体制、TPP等、日米間の各外交テーマに加え、日米外交の「システム」や「意思決定過程」に特に焦点を当てる。

現在アメリカトランプ大統領は、ベネゼイラに対する軍事介入やイランへの攻撃など、国際法や国連憲章を無視した力による政策を実行しています。

また『国家安全保障戦略2025』（2025年12月）や「国家防衛戦略」（2026年1月）では、「西半球」と経済的潜在力の高い「インド太平洋」を戦略的重心とし、国益や安全保障を脅かすと判断した対象に対しては武力行使もいとわれないとしています。

これまでの世界の秩序が大きく変わってきている中、日米同盟を基軸にしたこれまでの日本の政策が問われています。

戦争を回避するために、どのような政策が必要か、猿田さんにお話していただきます。

※当日はオンライン参加が可能です。

希望者は右側のQRコードから事前

登録をしてください。



主催

不戦へのネットワーク

TEL. 050-3593-5130
Eメールhusen@jca.apc.org